

H01T スパークギャップ；スパークギャップを用いる過電圧避雷器；スパークプラグ；コロナ放電装置；密閉されない気体中へ導入されるイオンの発生(過電圧保護回路H 0 2 H)

注

このサブクラスにおいては、下記の表現は以下に示す意味で用いる：

“スパークギャップ”とは、冷電極を有し、かつ、短時間に多量の電気エネルギーを放電するために限って用いられる密閉型または非密閉型の放電装置を意味する。[4]

サブクラス内の索引

スパークギャップ

回転するもの..... 7/00

補助的なトリガ手段を含むもの..... 2/00

特殊な適用：発振のための；整流のための..... 9/00；11/00

過電圧避雷器；アークホーン..... 4/00

その他のスパークギャップ..... 14/00

細部..... 1/00

スパークプラグ..... 13/00

回路..... 15/00

コロナ放電用装置..... 19/00

製造、保守..... 21/00

イオン発生装置..... 23/00

1/00 スパークギャップの細部

1/02 ・アークを消す方法

1/04 ・・磁気的な吹き消しを用いるもの

1/06 ・・・永久磁石をもつもの

1/08 ・・消弧流体の流れを用いるもの

1/10 ・・・アークの熱により固体材料から放出される消弧流体によるもの

1/12 ・スパークギャップと構造的に組み合わされ、その作動を記録するための装置

1/14 ・スパークギャップと構造的に組み合わされ過負荷に対してスパークギャップを保護し、または故障の場合に切り離すための装置(H 0 1 T 1 / 1 5 , H 0 1 T 1 / 1 6 , H 0 1 T 1 / 1 8 が優先；火花間隙避雷器のための非常保護回路装置H 0 2 H 7 / 2 4) [4]

1/15 ・過大圧力に対する保護のためのもの[4]

1/16 ・スパークギャップと構造的に組み合わされた直列抵抗

1/18 ・スパークギャップと構造的に組み合わされた電解装置

1/20 ・アークの開始またはスパークギャップの点弧の促進手段[3]

1/22 ・・電極の形状または組成によるもの[4]

1/24 ・電極のための材料の選択(H 0 1 T 1 / 2 2 が優先)[4]

2/00 補助的なトリガ手段を含むスパークギャップ(トリガ回路H 0 1 T 1 5 / 0 0) [4]

2/02 ・トリガ電極または補助的なスパークギャップを含んでなるもの[4]

4/00 スパークギャップを用いる過電圧避雷器(H 0 1 T 2 / 0 0 が優先；スパークギャップを用いる過電圧保護回路H 0 2 H 9 / 0 6) [4]

4/02 ・細部[4]

4/04 ・ハウジング(H 0 1 T 4 / 0 6 が優先)[4]

4/06 ・複数個の過電圧避雷器のための取付装置[4]

4/08 ・保護装置と構造的に組み合わされているもの(スイッチ付のものH 0 1 H 9 / 1 4 ; ヒューズ付のものH 0 1 H 8 5 / 4 4) [4]

4/10 ・単一のギャップまたは並列にされた複数個のギャップを有するもの[4]

4/12 ・・ハーメチックシールされたもの[4]

4/14 ・・アークホーン(絶縁体と組み合わされたものH 0 1 B 1 7 / 4 6) [4]

4/16 ・直列に配列された複数個のギャップを有するもの[4]

4/18 ・・積層スパークギャップの高さを減少させるための装置[4]

4/20 ・・電位分布を改善するための装置[4]

7/00 回転スパークギャップ、すなわち1個以上の回転電極をもつ装置

9/00 発振を起すために特に適合したスパークギャップ

11/00 整流器として特に適合したスパークギャップ

13/00 スパークプラグ

13/02 ・細部

13/04 ・・スパークプラグに電気的な接続をする手段

13/05 ・・・干渉抑制またはシールド手段と組み合わされたもの[4]

13/06 ・・プラグの一部を構成し、プラグを有害な環境から保護するカバー

13/08 ・・スパークプラグの取り付け、固定または封止、例・燃烧室内

13/10 ・・・バヨネット型結合によるもの

13/12 ・・器具または手により保持するのに便利なスパークプラグ上の手段

13/14 ・・自己清浄のための手段

13/16 ・・熱を放散するための手段

13/18 ・・加熱するための手段、例・乾燥するためのもの

13/20 ・電極または絶縁体の形状に特徴のあるもの

13/22 ・・絶縁体中に埋めた2個以上の電極をもつもの(2個以上のスパークギャップを

H 0 1 T

	有するスパークプラグ H 0 1 T 1 3 / 4 6)	21/00	スパークギャップまたはスパークプラグの製造または保守のために特に適合した装置または方法
13/24	・可動電極をもつもの (H 0 1 T 1 3 / 2 8 が優先)	21/02	・スパークプラグに関するもの
13/26	・電極を曲げないでスパークギャップを調節するためのもの	21/04	・清浄 (自己清浄のための手段 H 0 1 T 1 3 / 1 4 ; スパークプラグの清浄のための研磨剤吹き付け装置 B 2 4 C 3 / 3 4)
13/28	・球面形状の電極をもつもの, 例 . 球型	21/06	・スパークギャップの調整 (ギャップ調整用可動電極を有するスパークプラグ H 0 1 T 1 3 / 2 6) [4]
13/30	・自由に動き得るように支持されたものの	23/00	非密閉気体, 例 . 大気, の中へ導入されるべきイオンの発生装置 [4]
13/32	・接地電極の形状に特徴のあるもの		
13/34	・絶縁体への電極の取り付けに特徴のあるもの, 例 . 埋設		
13/36	・絶縁体と本体との間の結合に特徴のあるもの, 例 . セメントを使用するもの		
13/38	・絶縁体としての材料の選択		
13/39	・電極のための材料の選択 [4]		
13/40	・他の装置と構造的に結合されているもの (燃料噴射装置と結合されまたは組合わされているもの F 0 2 M 5 7 / 0 6 ; 内燃機関の他の部品と構造的に結合されているもの F 0 2 P 1 3 / 0 0)		
13/41	・干渉抑制またはシールド手段をもつものの [4]		
13/42	・磁気的なスパーク発生器をもつもの		
13/44	・変成器をもつもの, 例 . 高周波点火用		
13/46	・2 個以上のスパークギャップをもつもの		
13/48	・スパークを見るようにする手段をもつものの		
13/50	・ギャップのイオン化のための手段をもつもの (H 0 1 T 1 3 / 5 2 が優先) [4]		
13/52	・表面に沿っての放電に特徴のあるもの		
13/54	・部分的に閉じた燃焼室内に配置した電極をもつもの		
13/56	・容易に組み立てたり外したりできる部品を持つことに特徴のあるもの		
13/58	・試験 (内燃機関点火時の火花特性の試験 F 0 2 P 1 7 / 1 2) [2 0 2 0 . 0 1]		
13/60	・電気的な特性の試験 [2 0 1 1 . 0 1]		
14/00	グループ H 0 1 T 2 / 0 0 ~ H 0 1 T 1 3 / 0 0 に分類されないスパークギャップ (コロナ放電を生じるための装置 H 0 1 T 1 9 / 0 0) [4]		
15/00	スパークギャップのために特に適合する回路, 例 . 点火回路 (内燃機関のための点火回路 F 0 2 P ; 燃焼装置のための電氣的スパーク点火 F 2 3 Q ; スパークギャップを用いる保護回路 H 0 2 H 9 / 0 6) [4]		
19/00	コロナ放電を生じるための装置 (電子写真要素の帯電のためのもの G 0 3 G 1 5 / 0 2) [4]		
19/02	・コロナリング		
19/04	・とがった電極を有するもの		